

平成24年 2月15日

川崎市議会議長 大島 明 様

幸区在住者

ほか 9,211名

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

請願の趣旨

経済格差の拡大と貧困層の増大が進むなか、高額な教育費の負担が子どもたちの家庭に重くのしかかっています。子どもたちの明るい未来をひらくために、教育予算を増額し、教育費の父母負担を軽減してください。高校進学を希望する全ての中学生に、お金の心配なく高校に通えるように、公立高校の定員数を拡大し、私立高校への助成を充実してください。

ゆきとどいた教育を進めるために、少人数学級の全学年実施は国民的要求であり、国の責任による少人数学級の実施は急務です。市でも平成17年度（2005年度）より、市独自で非常勤講師を配置しての「少人数指導推進事業」が始まり、平成20年度（2008年度）には、全市の小学校1年生で「35人以下学級」が実現しました。さらに、平成23年度（2011年度）からは、小学校1年生は国の施策として、小学校2年生は、市の独自施策として、35人以下学級が実現し、多くの子どもたちや父母と先生たちに歓迎されています。

国の少人数学級の他学年への拡大を要求するとともに、国の施策を待つことなく、市独自で教職員を配置して、中学校1年生と小学校3年生の「35人以下学級」を実施してください。

また、正規教員が市内で約190名も不足し、臨時教職員で補充している状態を、一刻も早く解消してください。同時に、臨時教職員の身分と待遇を改善してください。

請 願 事 項

- 1 教育費の無償化、父母負担軽減を進めてください。
- 2 国の責任で、30人以下学級を実施するように、国と県に要望してください。
- 3 当面、市独自で中学校1年生と小学校3年生を35人以下学級にしてください。
- 4 高校入学を希望する中学生が全員入学できるように、県に要望してください。
- 5 定数法を遵守し、正規教員を配置してください。
- 6 臨時任用教職員や時間講師の身分と待遇を改善してください。

紹介議員

吉 沢 章 子
菅 原 進
佐 野 仁 昭
松 川 正二郎
三 宅 隆 介
猪 股 美 恵